

# あしたも えがおで

～#もっと!まつよう～ まつよう校長だより 2024.5.1 NO.1



新学期からひと月経ちました。入学式には満開だった桜の木は、若葉から青葉へと変わりつつあります。子どもたちは、少しずつ学校のリズムに慣れ、意欲的に学習に取り組んでいます。

川津校舎では、8:30～9:00の登校時間、管理職4名で見守りをしています。子どもたちの挨拶が素晴らしく、私にとって大事な時間となりました。自分から「おはようございます。」「行ってきます。」と元気よく挨拶する子ども、車の中から笑顔で手を振って挨拶する子ども、お母さんと一緒におじぎをして挨拶する子どもなど、挨拶の仕方にもその子らしさがあります。中でも、担任の先生を見つけ、とびきりの笑顔で抱き着く姿を見ると、とても幸せな気分になります。子どもたちが「学校だいすき！」を発信してくれる瞬間です。このような朝の風景から、校長だよりのタイトルを「あしたも えがおで」としました。

さて、遅くなりましたが、今年度の学校経営についてお知らせします。昨年4月に施行された「こども基本法」の理念を踏まえ、子どもを中心に据えた学校づくりに挑戦していきます。子どもは生まれながら人権をもっています。それは、子どもの思いや願いが尊重されるということです。改めて、子どもの視点から教育活動を問い直し、捉え直しをすることで、「#もっと!まつよう」の取組をアップデートしていきます。

子どもたちが「また、明日も来たい！」と思える学校づくりに努めてまいります。引き続き、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和6年度 重点目標

### 子どもを主語にした学校づくり

～教師中心の「教える」教育から児童生徒中心の「学ぶ」教育への転換～

【教育の重点】 **子どもの主体性が発揮され、子どもの成長が見える学習環境の設定**

～さまざまな体験や地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりを通して、

「やってみたいこと」「なりたい自分」に出会い、挑戦するプロセスを支える～

【運営の重点】

- ・グランドデザインの実現に向けた取組の評価(子どもの意見・子どもの視点からの検証・見直し)
- ・地域との連携・協働による教育活動の充実(学校運営協議会を核とした地域と繋がりあう体制づくり)
- ・安心・安全な教育環境の整備(報告ルートの明確化・初期対応の徹底)
- ・心理的安全性が保たれた教職員集団の構築(\*話やすさ・助け合い・挑戦・新奇歓迎)

\* 石井遼介「心理的安全性のつくりかた」

- ・より質の高い教育活動を推進するための学校教育DX化と働き方改革(校内研究・OJTの推進)